

市町村名 (市町村コード)	登米市 (04212)
地域名 (地域内農業集落名)	東和地区 (上綱木・東上沢・仲上沢・西上沢・下綱木・元町・仲町・五日町・馬の足・軽米・松坂・城の内・館の下・飯土井・天王小路・城内・内の目・町・浅草・大谷野・大清水・川端・岩の沢・入沢・表一・表二・裏一・裏二・新小路・足柄町・横町・城内・根廻・大沢・細野・相川・南の沢・平倉)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年1月16日 (第2回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

本地区は、北上山地の丘陵地帯が大半で、総面積の82%を山林が占めている中山間地域である。小規模経営体が多く、地域で手を取り合って維持管理を続けている。しかし、出し手のみならず受け手の中心的経営体を含めた担い手の高齢化が進み、農地集積集約が進まない状況にある。また、開田や小区画農地は、耕作するものがいなく、一部を自家用として耕作し維持管理しているが荒廃化の一途をたどっている。地域内外、国籍に拘らず、若い担い手の確保に向けた具体的な取り組みが必要である。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

現在、中心的経営体の法人化等により、田植、稲刈時の短期雇用契約による人材を確保しているが若い人材がいない。若い人材を確保するためには、通年雇用を実現する営農体系を構築する必要がある。水稻の育苗ハウスを利用して、ほうれん草など冬期間でも生産できる作物の導入、水稻と作業時期が重複しないニンニクの栽培などを行い、通年雇用を実現する。主食用米については、生産地生産者を限定し栽培管理方法を統一した特別栽培米としてブランド化し付加価値をつけて販売する。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	1,303 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	796 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方 (範囲は、別添地図のとおり)

--

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。